

A group of students is lying on a large green lawn in front of a university building. The building has a prominent clock tower and arched windows. The students are scattered across the lawn, some sitting up and some lying flat. The sky is overcast.

LAH.T.314
教養特論：環境
第13回：総まとめに向けて
復習ともう少し話しておきたいこと

2022年11月24日

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

日本代表、格上のドイツに逆転勝利！
おめでとう。後半の粘り強さに感動しました。
雨上がりの今朝、富士山が格別に綺麗でした。



桜並木から芝生斜面に降りるところ



W 9-716から

全体の流れ（前半）

- 1(10/3月) オリエン、現状、持続可能性、小史
- 2(10/6木)SDGs（持続可能な開発目標）入門
- *10/10休み
- 3(10/13木) SDGs調べシェア
- 4(10/17月) 世界の相互依存関係について
つながりマップづくりへ
- 5(10/20木) つながりマップシェア
- ~~6(10/24月) SDGs 13気候変動へ（休講）~~
- 7(10/27木) SDGs 13気候変動へ、

全体の流れ（後半）

- *10/31, 11/3 休み
- 8(11/7月) SDGs13:気候変動調ベシェア
- 9(11/10木) SDGs14:海の豊かさ現状と対策
- 10(11/14月) SDGs 15陸の豊かさ現状と対策
- 11(11/17木) つながりを取り戻すワーク
- 12(11/21月) 未来社会デザイン機構 (DLab) 未来放談撮影参加
@東工大百年記念館 4階DLabスペース
 - ILA駒田先生・中野、建築：塚本先生、Dialog in the Dark:志村季世恵
- 13(11/24木) *P.ホーケンのリジェネレーション,歌で学ぶ自然の循環
 - **総まとめに向けて、復習ともう少し話しておきたいこと**
- 14(11/28月) 総まとめ（最終レポートシェア）

最終レポート課題

11月28日最終回に持ち寄りシェア大会

授業を通しての学びと「私たちにできること」

- お題：
 - ①授業での印象的な学び3つ：
 - 自分にとっての大きな気づき・発見・学び
 - 3つ（以上）具体的に提起して、何がどういう学びになったのか。
 - ②私(たち)にできること・したいこと：
 - 持続可能な社会、特に環境面で、今後の暮らしや活動・研究などで、本気で大事にしたいこと。
 - 言葉だけでなく自分なりにコミットできる正直なところ
- A4、2枚以内（2,000字～3,000字程度）
 - 11/28に持ち寄ってシェア
 - 11/29中に必要なら加筆しT2SCHOLAに提出

未来社会デザイン機構（DLab）未来放談

@東工大百年記念館 4階DLabスペースで確定

終了後、ミニレポート（印象に残ったこと、学んだこと）をGoogleフォームに

志村季世恵

Kiyoe Shimura
バースセラピスト



志村季世恵
バースセラピスト
ダイアログ・
ジャパン・ソサエ
ティ代表
Dialog in the
Dark等

駒田陽子
東工大リベラル
アーツ研究教育院
(ILA)教授
睡眠学が専門



塚本由晴
東工大建築系教授
アトリエ・ワン共
同主宰
パリ、ハーバード、
UCLAなどで客員



中野民夫
東工大ILA教授
コミュニケーション
論（ファシリ
テーション）、マ
インドフルネス、
環境教育



前回のフィードバックシートから 未来放談、どうでしたか？

駒田・中野・塚本・志村の放談

- フィードバックシートありがとう。たくさんのかんことを感じてくれたようで、よかったです。
- 先ほど、みんなのFBシートとして、T 2SCHOLAにアップしました。同じ話を聞いても多様に受け取る他者から学び合ってくださいね。
- 今日は、そのふりかえりから。
- 小グループで：4人で10分
 - チェックイン
 - 休んだ人はその旨伝えて。周りの人はその人にわかるように説明を
 - 印象に残ったことひとつずつ
 - 順にぐるぐる回そう
- 全体で

第13回：プレファイナル（総まとめに向けて） アジェンダ

13:45-15:25

- 1345オリエン
- 未来放談ふりかえり
- 1400これまでの授業のふりかえり
- 1420もう少し伝えておきたいこと
- 1450小グループの対話
- 1500全体で一人一言
- 1525
 - 次回に向けて
 - フィードバックシート記入

この授業のふりかえり

最近から遡ると



LAH.T.314
教養特論：環境
第11回つながりを取り戻すワーク

2022年11月14日

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

“sense of wonder”

神秘さや不思議さに目をみはる感性

レイチェル・カーソン

(1907-1964) 海洋生物学者

『沈黙の春』 1962

『センス・オブ・ワンダー』

DDTなど農薬の化学物質の影響で鳥達が鳴かない春を警告。

皆さんは、最近、
神秘さや不思議さに
目をみはったこと、ありますか？

深まる秋の日々を
お楽しみあれ

立ち止まって、今ここを深く観るには。 マインドフルネス・プラクティス

- 調身 : まず身体を調える
- 調息 : すると息が調う
- 調心 : そしてようやく心も調う

例えば：ゆったりと立つか座って足の裏を感じる。ゆっくり背伸びし天地の間の柱に。手をお腹と胸に当てありのままの呼吸を感じる。呼吸を軸に、自分の中（身体、感覚、感情、思考）で起こっていることに、ただそのまま気づく。No judgement（判断・評価を控えて）で。

瞑想＝「何も考えない」ではなく、今ここで起こっているありのままをはっきりと知ること。マインドフルネス：今このありのままへの気づきを養い、食べる瞑想、歩く瞑想、傾聴、など日常へ。

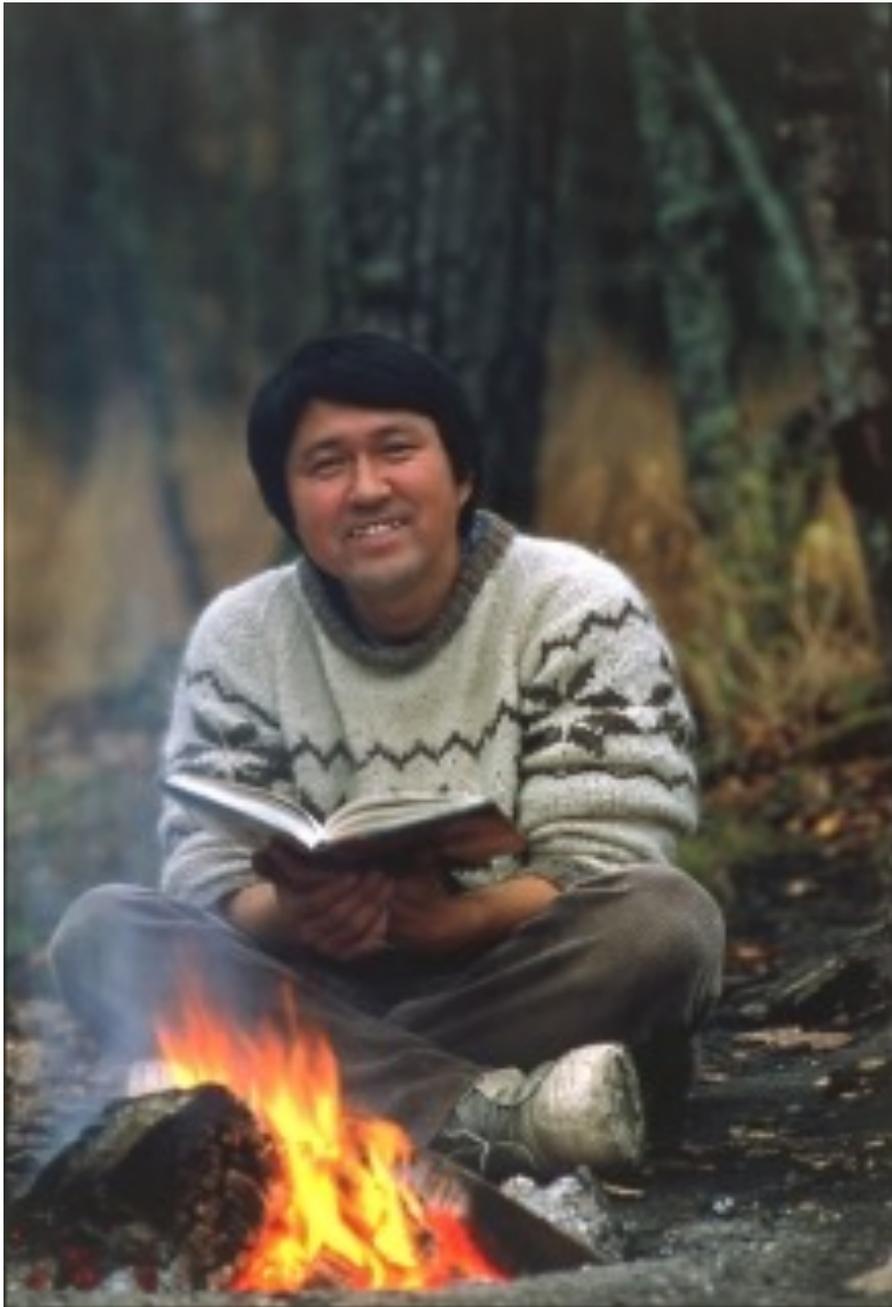
ワーク1 子どもの頃の My sense of wonder

思い出し



(マーカーで) 絵に描いてみる

みんなスラスラかけたよね！

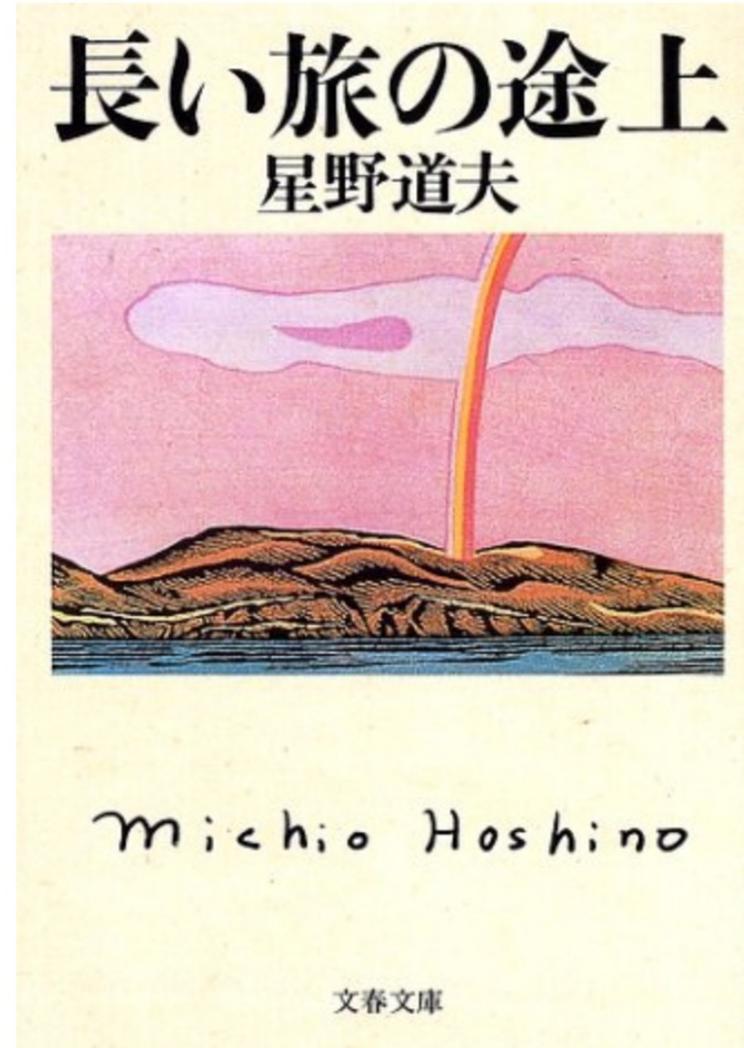
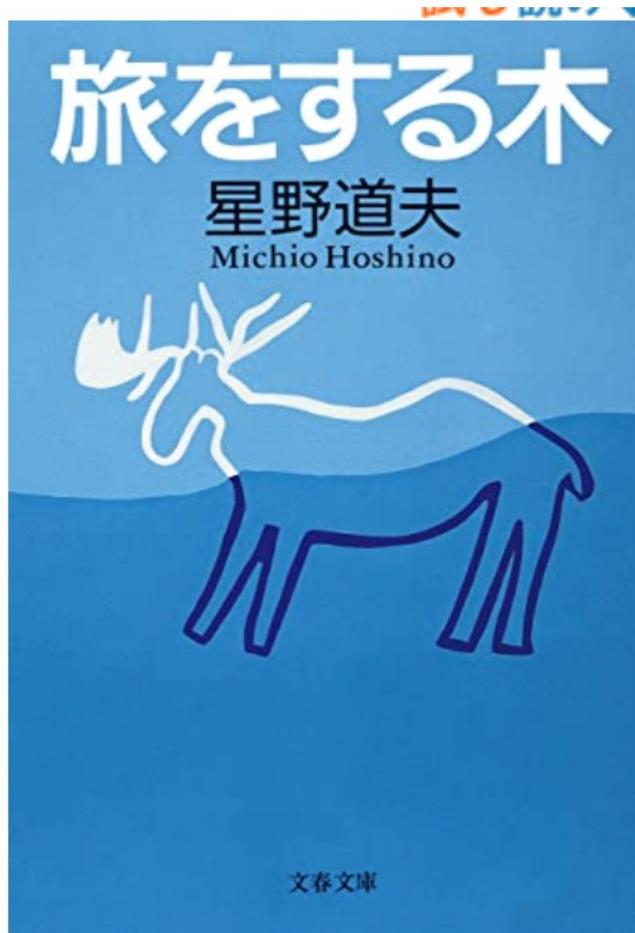


星野道夫 写真家
1952-1996

アラスカの雄大な自然
とそこに生きる動物や
植物、人々を写真や文
章を通じて表現した世
界的な写真家。

アメリカ北西海岸につなが
る南東アラスカ、クリン
ギット族の世界も旅した。

お薦めの文庫本。これを持って旅に出よう。
カフェでも、満員電車でもいいけれど。



人生とは

- 映画地球交響曲（ガイアシンフォニー）第3番 予告編あり。見てみよう
- <https://www.google.com/search?client=safari&rls=en&q=%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%82%A2%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%8B%E3%83%BC%E7%AC%AC%EF%BC%93%E7%95%AA%E4%BA%88%E5%91%8A%E7%B7%A8&ie=UTF-8&oe=UTF-8#fpstate=ive&vld=cid:76a3e223,vid:ZhNFlwGelOQ>
 - 最新は9番 <https://gaiasympphony.com>
- 星野道夫の友人シリア・ハンターが語る言葉
 - ブッシュパイロット、自然保護活動
- “Life is what happens to you while you are making other plans.”
- 「人生とは、何かを計画している時に起きてしまう別の出来事のこと」
- 人生は思うようにならない。それが面白い。
 - 確実なのは、皆死ぬこと。それがいつかわからない。

ワーク2
今の大岡山で
sense of wonder
を探そう

ただし、その前に
準備が必要
マインドフルネス









Sense of wonderを磨いて自然に驚きの目を見張ろう。刻々と変化する四季の移り変わりはいのちそのもの。自然が親しくなると、もう他人事ではない。自ずと大切にしたいくなる。

ティク・ナット・ハンの
インタービーイング

もしあなたが詩人なら、この一枚の紙の中に、
雲が浮かんでいるのをはっきりと見るでしょう。

雲が無ければ雨はなく、

雨がなければ樹は育たないでしょう。

そして樹がなければ、紙を作ることができないからです。

紙が存在するために、雲はなくてはならないものなのです。

もし雲がなければ、この一枚の紙も存在することはできません。

ですから、紙と雲は「相互存在 (interbeing)」していると、
言うことができます。

Thich Nhat Hanh, "The Heart of Understanding"

SDGs(持続可能な開発目標)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

2015.9、国連で193カ国首脳の合意のもとに採択。17のゴールと169のターゲットで持続可能な社会・経済・環境へ。

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

The background image shows a university campus. In the foreground, there are several trees with autumn-colored leaves (yellow, orange, and green). A paved walkway runs through the scene, with a few people walking and a dog on a leash. In the background, a large, modern, multi-story building with many windows is visible under a cloudy sky.

LAH.T.314
教養特論：環境
第10回SDGs15陸の環境シェア

2022年11月14日

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com



LAH.T.314
教養特論：環境
第9回SDGs14海の環境シェア

2022年11月10日

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com



LAH.T.314

教養特論：環境

第78回SDGs13シェア

2022年11月7日

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

気候変動入門に良いものを見つけました 紙芝居（絵本の読み聞かせ）

最近、

シロクマが
教えてくれた
温暖化時代を
幸せに生き抜く方法



**地球が暑くて
クマって
ます。**

水野敬也 + 長沼直樹
監修 江守正多 監訳 伊坂幸太郎

あなたの
生活も
曲まっています！



この本は楽しい上に、可愛いシロクマの
ために何かしたくなるから、おすすめです。伊坂幸太郎

20分でわかる！温暖化のホント
地球温暖化のリアル圧縮版①

江守正多（国立環境研究所地球環境研究センター副センター長）
<https://www.youtube.com/watch?v=Zsw2TJ006mc>

- 国立環境研究所の江守先生
 - たくさんのわかりやすい動画を配信
- 地球温暖化のリアル①②③からまず一つ。
 - 残りの2つもぜひ見て。



LAH.T.314
教養特論：環境
第5回つながりマップシェア

2022年10月20日

リベラルアーツ研究教育院教授

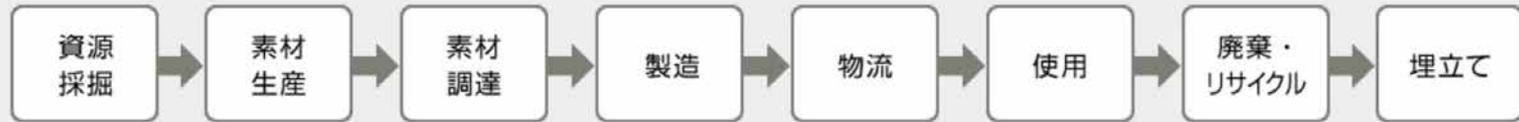
中野民夫

tamio.nakano@me.com

ライフサイクルアセスメント (LCA)

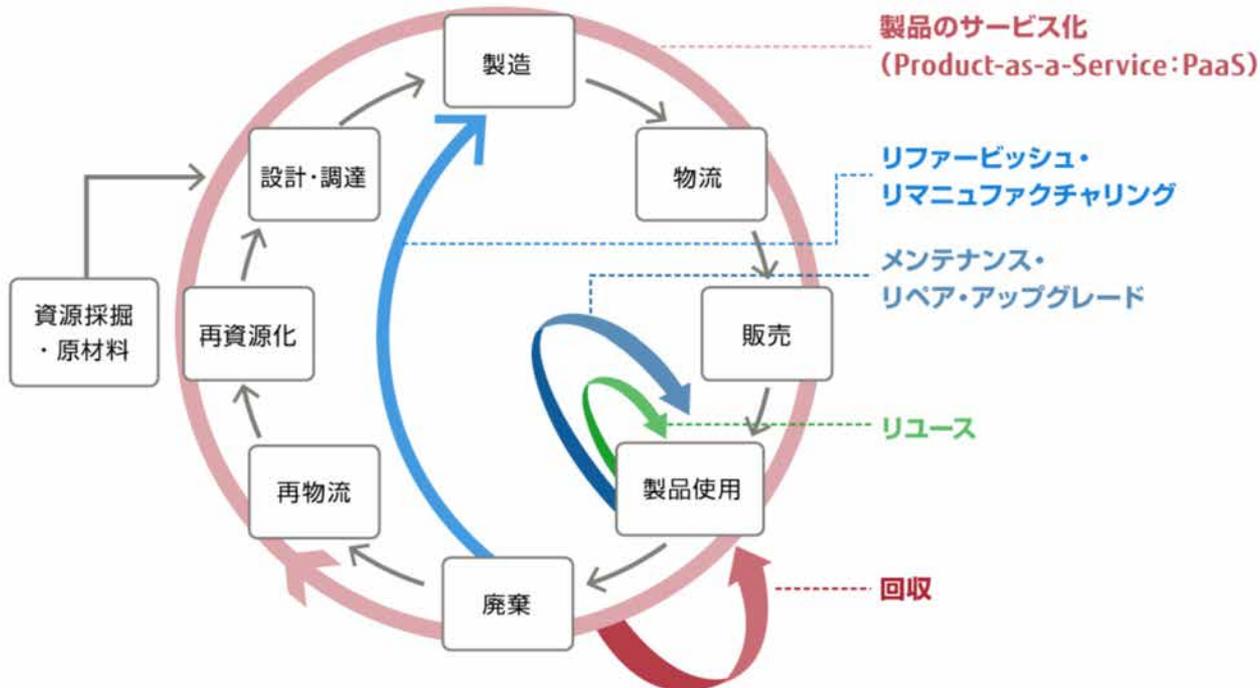
工業製品 FUJITSU

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/lca/>



製品のLCAの評価範囲

サービサイジングにおけるライフサイクルフローは以下の通りです。



サービサイジングのLCAの評価範囲

富士通グループでは、1998年から環境配慮設計の開発強化を目的として導入した「グリーン製品」評価制度に製品のLCAを用いており、それ以降、新製品の開発時にLCAを実施し製品のさらなる環境配慮設計に活用しています。その他、一部の製品では、社内での製品LCAの取り組みを活かし、エコリーフやEPEAT (Electronic Product Environmental Assessment Tool) など環境ラベル取得にも取り組んでいます。一方、製品のサービス化が進みIoTを用いたクラウド事業などが増え、シェアリングの社会的ニーズが拡大するとともに、資源循環 (Circular Economy: CE) の議論が政策の側面から強く求められつつあります。





LAH.T.314
教養特論：環境
第4回：世界の相互依存関係

2022年10月17日

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

日々の暮らしで私たちを支えてくれるているもの、**どこから来たか**知ってる？

- 朝起きて、顔洗う。トイレ行く。水や紅茶・コーヒーを飲む。料理する。シャワー浴びる。
- 「水」のお世話になってるよね。
- その水道水の水、どこから来たか、知ってる？
- 「武蔵野市・水・どこから」で検索
 - 武蔵野市の水道水には、井戸水が使われています。 **奥多摩町などがある多摩丘陵西部の森などで生まれ、地中を流れてきた地下水を、市内27本の井戸からくみ上げ、2つの浄水場から各ご家庭に届けています。** 浄水場では、地下水を消毒・ろ過し、東京都が管理する東村山浄水場・朝霞浄水場などにつくった水をまぜて送り出しています。

着てる服はどこから？

導入ワーク2

- 「着てる服はどこから？」
- 普段よく着ている服は、どこ製？知ってる？
 - 今着ている服がどこ製かタグを調べて確認を。
 - 例：Tシャツ=ハイチ、シャツ=中国、ズボン=ヴェトナム、
- シェア＋そこからわかること5分
 - 一巡したら、どんな発見や気づきがあったか自由に話し合ってください。
- 実は、衣料の環境負荷はかなり大きい。ファッション業界の人は最近SDGsにとっても敏感。

つながりマップ： 今日食べたものはどこから？どこへ

- 今度は「食べ物」を丁寧に見てみよう。
- 今日の朝食か昼食のいくつかを取り上げ、身近なところから、どこまで遡れるか、絵（図）に描いてみよう。
 - 例：紅茶、パン、バターを、どこから来たか、できるだけ遡ると？
 - 店、流通、問屋、工場、原材料はどこから？生産地はどこ？輸入だとしたらどこからどうやって？畑、その先は？
- できれば上流だけでなく下流も探索。廃棄物はどこへ？
 - 紅茶→体→尿→下水→下水処理場、バクテリア→川・下水管？→海へ。包装は？
- 個人作業 分→シェア
 - 正解とか上手い下手はないので、自由に遊び心で探検してみてくださいね！

A cityscape at sunset with mountains in the background. The sky is filled with orange and yellow clouds, and the city lights are visible in the foreground.

LAH.T.314

教養特論：環境

第3回SDGs調べシェア

2022年10月13日

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

17のうち、最も関心があるのは？ また最も遠い、わからんというのは？

- 1) どんな目標？ 2) どんな問題があるの？
- 3) 何が原因？ 4) 対策は？どうしたらいい？（社会の仕組み・個人）
- 早速調べてみよう。まずここで。そして宿題で。次回、8分ほどでシェアします。



このままでは世界は持続可能ではない！ →2030年までの世界の17の目標（ゴール）

表1-1-1 SDGs17のゴール

| | |
|-------------------|--|
| ゴール1（貧困） | ：あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる |
| ゴール2（飢餓） | ：飢餓を終わらせ、食糧安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する |
| ゴール3（健康な生活） | ：あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する |
| ゴール4（教育） | ：全ての人々への包摂的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯教育の機会を促進する |
| ゴール5（ジェンダー平等） | ：ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女子のエンパワーメントを行う |
| ゴール6（水） | ：全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する |
| ゴール7（エネルギー） | ：全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する |
| ゴール8（雇用） | ：包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク（適切な雇用）を促進する |
| ゴール9（インフラ） | ：レジリエントなインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの拡大を図る |
| ゴール10（不平等の是正） | ：各国内及び各国間の不平等を是正する |
| ゴール11（安全な都市） | ：包摂的で安全かつレジリエントで持続可能な都市及び人間居住を実現する |
| ゴール12（持続可能な生産・消費） | ：持続可能な生産消費形態を確保する |
| ゴール13（気候変動） | ：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる |
| ゴール14（海洋） | ：持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する |
| ゴール15（生態系・森林） | ：陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・防止及び生物多様性の損失の阻止を促進する |
| ゴール16（法の支配等） | ：持続可能な開発のための平和で包摂的な社会の促進、全ての人々への司法へのアクセス提供及びあらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度の構築を図る |
| ゴール17（パートナーシップ） | ：持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する |

(以上IGES仮訳)

「169のターゲット」(URL：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf>)

資料：IGES資料より環境省作成

こういう文字だけの文書だけだったら、SDGsは今のようにならなかつたかな？ デザインの力！

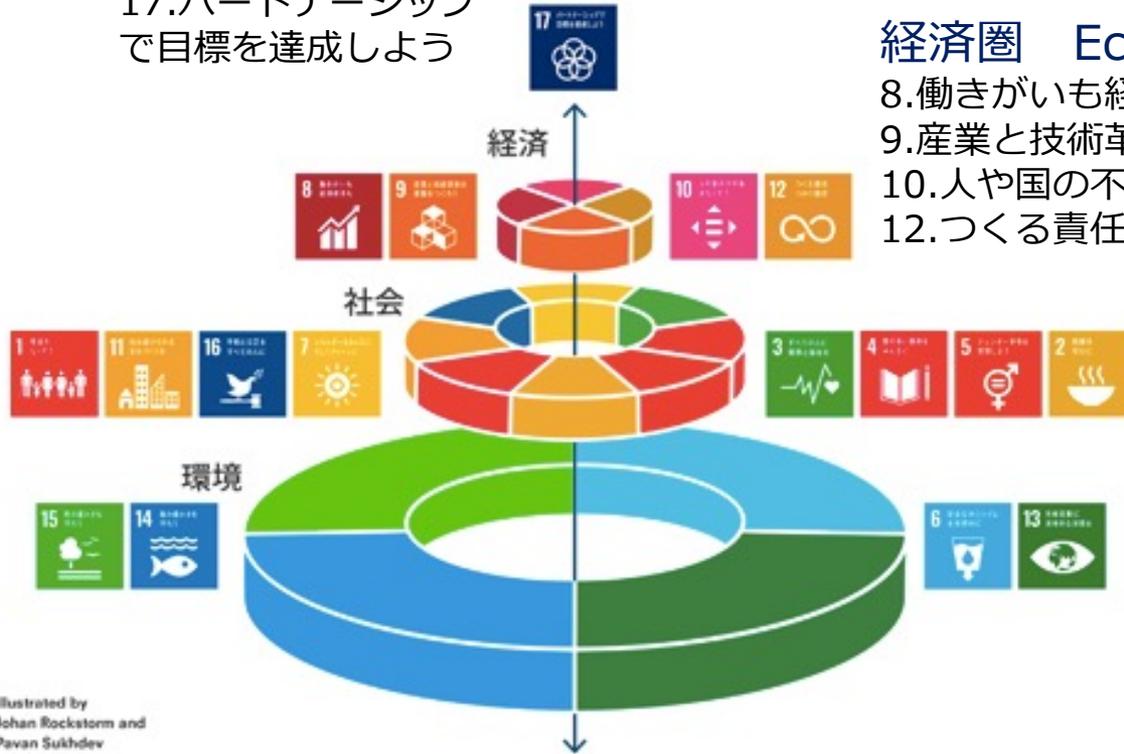
SDGsウェディングケーキモデル

スウェーデンのレジリエンス研究所考案、SDGsの概念を表す構造モデル
健全な経済があるのは、健全な社会があるから、それは、健全な環境があつてこそ。

健やかな環境があつてこそその社会、経済

頂点

17.パートナーシップ
で目標を達成しよう



illustrated by
Johan Rockstrom and
Pavan Sukhdev

経済圏 Economy

- 8.働きがいも経済成長も
- 9.産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10.人や国の不平等をなくそう
- 12.つくる責任 つかう責任

社会圏 Society

- 1.貧困をなくそう
- 2.飢餓をゼロに
- 3.すべての人に健康と福祉を
- 4.質の高い教育をみんなに
- 5.ジェンダー平等を実現しよう
- 7.エネルギーをみんなに クリーンに
- 11.住み続けられるまちづくりを
- 16.平和と公正をすべての人に

生物圏 Biosphere

- 6.安全な水とトイレを世界中に
- 13.気候変動に具体的な対策を
- 14.海の豊かさを守ろう
- 15.陸の豊かさを守ろう

<https://sdgs.media/blog/3834/>参照

A scenic sunset over a river with a bridge and mountains in the background. The sky is filled with colorful clouds in shades of orange, red, and grey. The river flows through a green landscape with a concrete bridge on the left. In the distance, there are mountains and some buildings. A person is visible running on a path in the lower right corner.

LAH.T.314 教養特論：環境 第2回SDGs

2022年10月6日

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

地球の出(Earthrise):1968年アポロ8号ウィリアム・アンダース撮影
「史上、最も影響力のあった環境写真」





Th
e
Bl
ue
M
1972年アポロ
17号 ar
bl

広大な宇宙空間の真っ只中にある地球の儂さ、脆さ、孤立を描写



私たち人類は、この広大な宇宙の中の、銀河系、その中の太陽系の奇跡の惑星「地球」に生きている。この生態系を離れて生命はない。国境は元々無い。

この奇跡の星に生きる一員としての自覚 = 「地球市民」 感覚

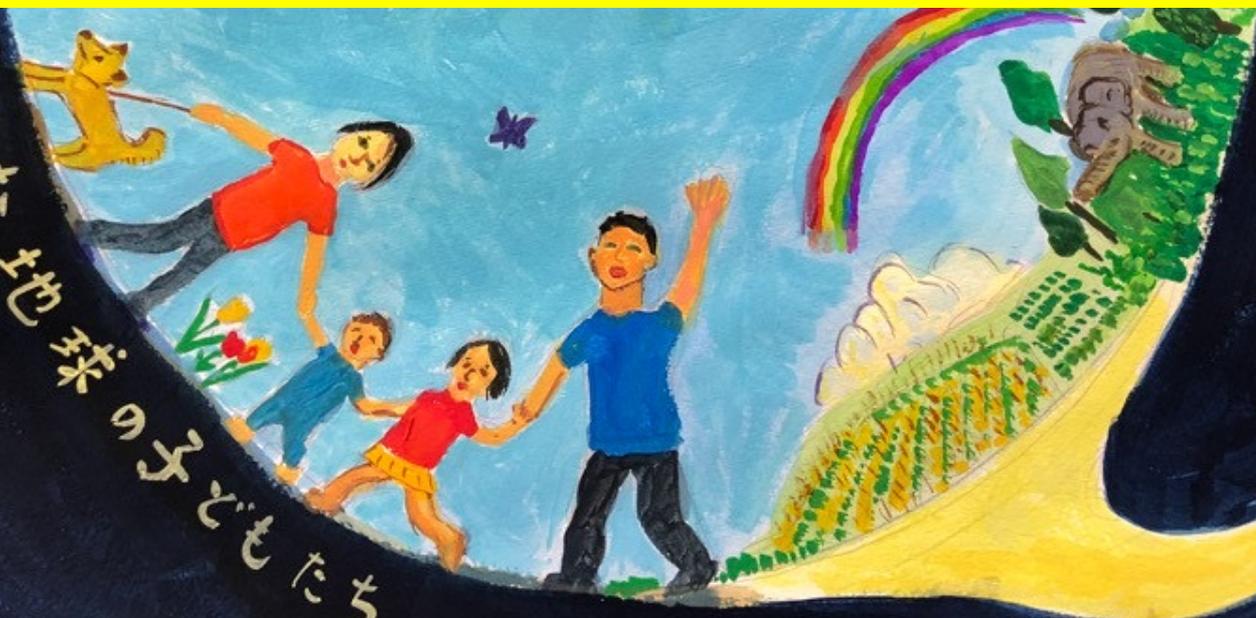
We are all

Children of

もし、みんな地球の子どもたち、と皆が深く実感できたとしたら、
環境や平和、持続可能性の問題はどう変わるだろうか？
そう感じられるにはどうしたらいいのだろうか？

<中野のライフワーク>

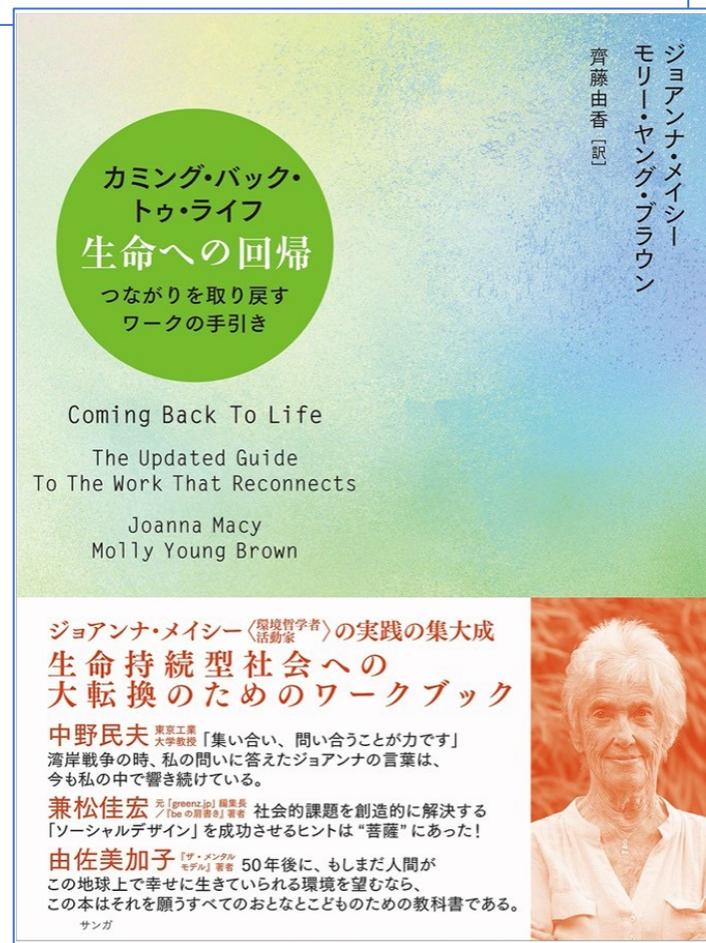
みんな地球の子どもたち



Tamio

私の大先生、仏教学者・社会活動家の
Joanna Macy: Coming Back To Life

- 日本語訳が昨年9月に出版：
『カミング・バック・トゥ・ライフ 生命への
回帰 つながりを取り戻すワークの手引き』
(ジョアンナ・メイシー著、齊藤由香訳、サンガ→日本能率協会)
- Life (生命、いのち) は、普段、私たちが
が思っているよりずっと大きい
 - 地球の生命の歴史40億年につらなる
 - 日々衣食住、地球の生態系や世界中の
人々の働きに支えられてる
 - そんな「大きなつながるいのち」に帰ろう
- サステナビリティ (持続可能性) の基盤
- 最近話題のSDGsのこころ



2016夏、カリフォルニアで”Active Hope”集中合宿。ジョアンナ・メイシー当時87歳。



Coming Back To Life (つながるいのちに帰ろう)

Inspired by Joanna Macy, at Yakushima

2020.9.5 Tamio Nakano

C G C C7, F F(C) G G7
* カミング・バック・トゥ・ライフ、カミング・バック・トゥ・ラ

Em Dm イロ G C
つながるいのちに帰ろう、 ただいま、おかえり

1. この私のいのち、どこから？ 親の親のまた親 (おやおや)
地球のいのち40億年、みんながつないでる
2. この水や食べ物、どこから？ 着るものも住むところもどこから
みんな自然の恵みと、たくさんの人のはたらき
3. 未来の世界、どこから？ 私たちのふるまいが創
る 大きないのちの織物、一緒に編もう

よF C Dm7 G
目覚めの鍵を開けるには、真実を語ろう

C G C F C G C
感じている本当のこと、いのちに語らせよう
感じている本当のこと、いのちに語らせよう

* カミング・バック・トゥ・ライフ、カミング・バック・トゥ・ライフ
つながるいのちに帰ろう、ただいま、おかえり、つながるいのちに帰ろう、ただいま、おかえり

LAH.T.314

教養特論：環境

第1回オリエンテーション

2022年10月3日

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

講義の概要とねらい

(シラバスより)

- 気候変動が世界各地で深刻化するなか、持続可能な社会をめざすにあたって地球環境の問題は避けて通れない。今、地球の生態系で何が起きているのだろうか？
- 世界中の課題になっている**SDGs**（持続可能な開発目標）の13（気候変動）、14（海の環境）、15（陸の環境）などを調べることを通して、現状や対策を知り、私たちが研究や暮らしを通して何ができるのか具体的に考えていきたい。
- また変革の基盤を築くために「つながりを取り戻す」ためのワークショップを通して万物の相互依存性などを体験的に探究する。最新のポール・ホーケンの『リジェネレーション（再生）』についても学びたい。
- ねらいは、複雑な地球環境問題を理解し、自分とのつながりを確認し、前向きに行動する力を身につけること。

到達目標

(シラバスより)

- 本講義を履修することによって以下の能力を修得する
- 1) 地球環境問題の概略を理解し、現代が大きな転換期であることを認識する。
- 2) 持続可能な社会に向けて、経済成長至上でなく生命を活かす価値観について理解する。
- キーワード
 - 地球環境問題、気候変動、SDG's (国連持続可能な開発目標)、つながりを取り戻す、リジェネレーション (再生)

授業の進め方、他

- グループワークを中心とした参加体験型。
 - 聞いた話は忘れやすいし身につけにくいですが、自分で発見し獲得したことは身になる。
- 4人の小グループを拠点に、手分けして各自が調べたものを持ち寄り、分かち合う中でお互いに学び合う場を創りたい。

<成績評価の基準及び方法>

- 授業への参加度（毎回の宿題と積極的なフル参加）：70%、中間・最終レポート：30%

<履修条件>

- 環境問題や持続可能な社会づくりに関心があること。
- グループワークの妨げになるので遅刻はしないこと。

具体的にやりたいこと

- 中野が貢献できるだけのことを。
- シラバスでは：**SDGs（持続可能な開発目標）**の概要を知る。
 - 特に**13気候変動、14海、15陸の豊かさ**、の深刻な現状・原因、そして対策・取り組みについて、手分けして調べ、共有する。
 - 「調べた者しか詳しくならない」、聞いた話は忘れる。
- **中野が影響を受けた師の物語やワーク**を体験。
 - 自身のeco storyを正直に語る。オーセンティックでありたい。
 - Joanna Macy（つながりを取り戻すワーク）、Thich Nhat Hanh（マインドフルネス）、レイチェル・カーソン(sense of wonder)、**山尾三省と屋久島**、星野道夫と**北米先住民**など
- 「**みんな地球の子どもたち**」という感覚を実感したい
 - 持続可能性**sustainability**の基盤
- それぞれの人生を通して貢献できることのきっかけに。
 - 一人ひとりが宇宙138億年、地球46億年の最前線を張っている。
 - それぞれなりにユニークな創造性を発揮することが宇宙の喜び！

環境問題の歴史概観

- 1945～ 戦後復興期
- 1956～ 高度経済成長期
 - 1964 東京オリンピック
 - 1970 大阪万博「進歩と調和」6400万人
- 一方で産業型公害の拡大
 - 水俣、イタイイタイ病、四日市ぜんそく
 - 1971環境庁設置、各種法律制定
- 1992～ バブル崩壊、停滞
 - 95 阪神淡路大震災、ボランティア
 - この頃、企業にも地球環境室などでき始める
- 1997 京都会議、地球温暖化大問題
 - プリウス発売、
 - 次第に「エコ」が大事、ブームへ
- 2000 循環型社会形成推進基本法
 - 各種リサイクルの促進
- 2005 愛知万博「自然の叡智」地球市民村
- 2011 東日本大震災、福島原発
 - エネルギーやライフスタイル再考
- 2020 コロナウィルスの世界的感染
- 毎年、台風・豪雨など自然災害多発
- 1962 『沈黙の春』
- 1969 アポロ11号月面着陸
- 1972 『成長の限界』
- 1972 国連人間環境会議
 - “Small is beautiful”シューマッハ
- 1973 第一次オイルショック
- 1979 スリーマイル原発事故
- 1986 チェルノブイリ原発事故
- 1987 ブレントラント委員会
“Our Common Future”我ら共有の未来
- 1989 天安門事件、ベルリンの壁崩壊
- 1991 湾岸戦争
- 1992 地球サミット（リオ）
- 1997 京都気候変動COP3 京都
- 2000 ミレニアム開発目標MDG's
- 2002 ヨハネスブルグサミット
- 2005 ESDの10年、始まる。
- 2010 生物多様性条約COP10 名古屋
- 2015 気候変動パリ協定、SDGsの採択
- 2020 covid-19 パンデミック、
- 最近各地で異常気象、
2021 IPCC第6次報告書人間の影響を断定

中野の遍歴

人生は思いもよらない展開をする

- 1957東京生まれ、小5-中2は下関。麻布高校で屈折。一浪。
- 77大学入学、一月で休学し旅へ。82「般若心経」私論で卒業
- 82あえて企業の中へ！と博報堂に就職し、大阪の営業から。
- 89休職・留学、カリフォルニア統合学研究所(CIIS)
 - 「人・モノ・カネ+環境の時代が来る」「エコロジカルなマーケティングを」と休職願ひ。
 - 組織開発変革学、ディープエコロジー、環境と平和のワークショップ
- 92人材開発、コーポレートコミュニケーション
 - 企業の社会貢献活動、自治体イベント等
 - 97山梨県環境フェスティバル
- 01『ワークショップ』（岩波新書）出版、各地でWS実践
- 05愛知万博「地球市民村」(NGO Global Village)
 - ESD(Education for Sustainable Development)の幕開け
 - 環境・持続可能性・NGO・CSR、市民参加、社会テーマ系。
- 12東日本大震災のボランティアが縁で同志社教員へ
- 15東工大へ（リベラルアーツ教育改革へ。立志少人数に貢献）
- 17還暦ライブ、18CD、
- 22個展&ライブ

1) どの誰
所属、名前（出身、
サークルなど）

2) 好きなこと・
よくやってること

3) この夏の思い出

4) この授業への期
待

グループワーク②

私のエコストーリー（環境にまつわる話）

- 同じグループで
- 次の言葉に続けて自由に思いつくままに。
 - どんな話でもかまいません。3周しましょう。
- 1. 「環境」と聞いて思い出すのは・・・
- 2. 「自然」と聞いて思い出すのは・・・
- 3. この授業で深めたいことは・・・
- 4 志、やりたいこと、夢は

屋久島めぐるブルース

2022.9.夏の滞在を終えて
曲:ブルースコード進行で
作詞:中野民夫

A7 D7
1. 水がぐるぐる めぐってる

A7 A7
黒潮に浮かぶ 山の島

D7 D7
雲湧き 月に35日雨

A7 A7
森は苔むし なんでもカビる

E7 D7 A7 E7
川の水で割る 焼酎うまいぜ 水がめぐる
屋久島

2. 風がさやさや めぐってる

夏でも山風 夜涼し
台風近づきゃ 船止まる
スーパーの棚 すっからかん
お天道さまには かないませんよね
風がめぐる屋久島

3. 人がワクワク めぐってる
母なる自然が 引き寄せる
老若男女 世界から
移り住む物好き 数知れず
お金じゃないよね 心豊かだ 人がめぐる
屋久島

4. 光キラキラ めぐってる
海からの日の出 神々しい
晴れたり降ったり 目まぐるしい
天気良くても光雨
雨が上がれば 虹がかかるぜ 光めぐる
屋久島

E7 D7 A7 A7
屋久杉ヤクシカ ヤクザル屋久人 温泉星
空 ポンタンカン
日さま土さん 風さん水さん いのちめぐる
屋久島

復習終わり

振り返って、自分にとって大切な学びは？
一つずつシェアしよう。

もう少し話しておき
たいこと

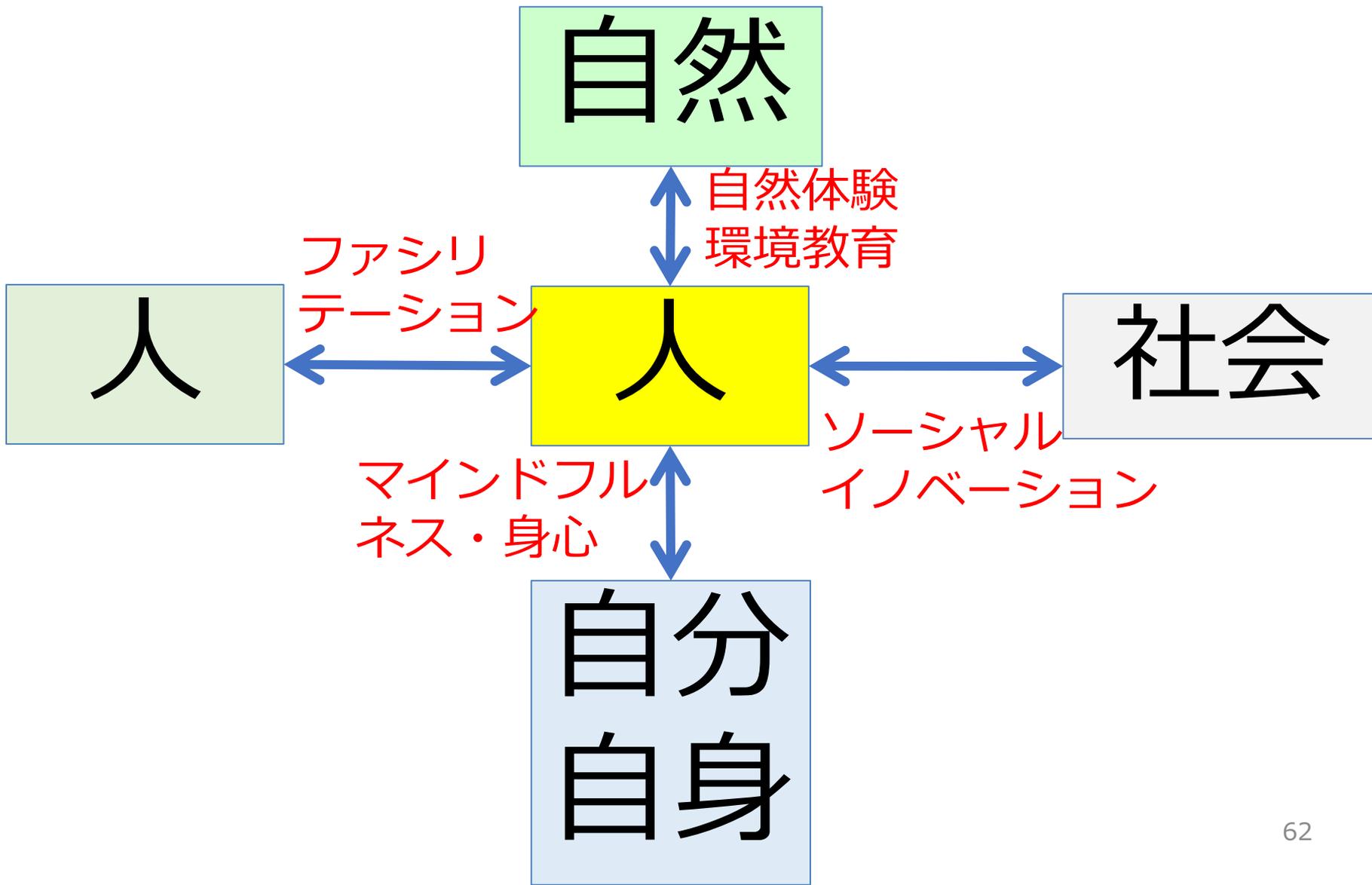
中野の遍歴

人生は思いもよらない展開をする、の実例

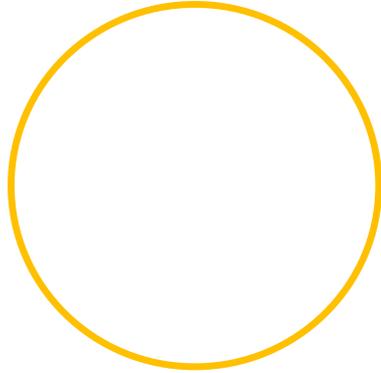
- 1957東京生まれ、小5-中2は下関。麻布高校で屈折。一浪。
- 77大学入学、一月で休学し旅へ。4回海外へ。82「般若心経」私論で卒業
- 82あえて企業の中へ！と博報堂に就職し、大阪の営業から。
- 89休職・留学、カリフォルニア統合学研究所(CIIS)
 - 「人・モノ・カネ+環境の時代が来る」「エコロジカルなマーケティングを」と休職願ひ。
 - 組織開発変革学、ディープエコロジー、環境と平和のワークショップ
- 92人材開発、コーポレートコミュニケーション
 - 企業の社会貢献活動、自治体イベント等
 - 97山梨県環境フェスティバル
- 01『ワークショップ』（岩波新書）出版、各地でWS実践
- 05愛知万博「地球市民村」(NGO Global Village)
 - ESD(Education for Sustainable Development)の幕開け
 - 環境・持続可能性・NGO・CSR、市民参加、社会テーマ系。
- 05から明大、立教、聖心女子大などで非常勤講師
- 12東日本大震災のボランティアが縁で同志社大学教員へ
- 15東工大へ（リベラルアーツ教育改革へ。立志少人数に貢献）
- 17還暦ライブ、18CD、22個展＆ライブ

中野民夫の仕事

人と人・自然・自分自身、社会を「つなぎ直す」仕事
the work that re-connect



1989.6-1992.2カリフォルニア留学(32-34歳)
3人の師との出会い



ハワード・シェクター (ODT学科長)

輪になって座る。

「サークル」(トーキングスティックの輪)
心の底から話し、ひたすら聴く。

ジョアンナ・メイシー

仏教学者・社会活動家
絶望と再生のワークショップ
Despair and Empowerment

世界の問題で「痛む」のは大事！
→怒りと嘆きの儀式
→万物の深いつながりへ

Deep Ecology

→それぞれの場からそれぞれなりの一歩を

ティク・ナット・ハン

ベトナム出身の仏教者
フランス拠点に欧米で活動
行動する世界仏教

内なる平和と外の平和の統合
Peace is Every Step

マインドフル：**今ここ**への気づき
インタビュー：相互存在
関わり行動せずにはいられない

中野の修士論文: Toward Our True Nature:
Experiential resources for a more ecological and peaceful world.
環境破壊や戦争の根本原因と乗り越えの方向性とWS案

【課題】

1. 切り離され孤立している
という私たちの「自己」認識
Separated Self



主にJoanna
Macyから

2. 「あること(Being)」より
「すること(Doing)への強迫
Doing more than Being



主にTich
Nhat Hanh
から

3. 自分自身をありのままに
感じ、正直にあらわにでき
る場がない
No space to reveal oneself



主にHoward
Schechter
から

【解決の方向性】

1. お互いにつながりあい関
係しあった大きな自己認識
Inter-connected Self

つながり

2. 今ここに、ただ在ることを
楽しむ
Just Being

今ここ

3. お互いに真実を話し聴き
あえる場を創る
Create the "Space"

心から

世界は恋人、世界はわたし
World as Lover, World as Self

ジョアンナ・メイシー
Joanna Macy(1929-)

自己の緑化 : greening the self

WLWS第11章

- 「自己」の概念が崩れつつある。
 - 「皮膚に閉じ込められた自己」アラン・ワッツ
 - 「西洋文化の認識的誤謬」グレゴリー・ベイトソン
- エコロジカルな自己、エコセルフへ : 自己の緑化
 - 他の生き物たちやこの地球の生命と共存できる
 - 「チプコ」 : 北インドの森を守るため木に抱きつく運動
- オーストラリアの森林保護活動家ジョン・シードの話
 - 「私というのは自分で自分を守ろうとしている熱帯林の一部、 : 近頃人間として考えるようになった熱帯林の一部」
- エコロジカルセルフ出現の3つの要素
 - エゴとしての自己が壁に。科学のシステム論 : 生命は関係性によって維持されるパターン。非二元論的な精神性の復活。

Deep Ecology

深くて長期的な視点のエコロジー

- アルネ・ネス：ノルウェーの哲学者・登山家
 - 1970年代「浅いエコロジーと深いエコロジー」、緑の党に影響
- 「人間（人類）中心主義」(anthropocentrism)を超えて
 - この地球上で人間だけが特別？何してもいい？
 - このままでは資源が足りなくなり、人間が困る？この人間中心（自然は人間が利用するため）の発想こそ問題。
- **ディープエコロジー**
 - この生態系の中で人間が何者なのか、全生命のより深いつながりあいの中で考える。人と自然の関係性の根本的問い直し。
 - 日本「人間は自然の一部」、欧米の「神-人-その他被造」にとっては、ラディカルな思想。
 - 特徴：「より深い問いを問い続ける」(keep asking deeper question)
 - テイク・ナット・ハン“interbeing”（相互に存在し合う）に通じる。

ティク・ナット・ハンの
インタービーイング

もしあなたが詩人なら、この一枚の紙の中に、
雲が浮かんでいるのをはっきりと見るでしょう。

雲が無ければ雨はなく、

雨がなければ樹は育たないでしょう。

そして樹がなければ、紙を作ることができないからです。

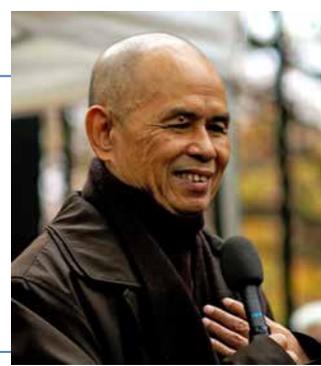
紙が存在するために、雲はなくてはならないものなのです。

もし雲がなければ、この一枚の紙も存在することはできません。

ですから、紙と雲は「相互存在 (**interbeing**) 」していると、
言うことができます。

Thich Nhat Hanh, "The Heart of Understanding"

最近話題の 「マインドフルネス」



- 漢字では「**念**」（パーリ語のsati、八正道の「正念」）
 - 「**今**」の「**心**」：Present mind、今ここへの気づき
- ベトナム出身の仏教者ティク・ナット・ハン
 - 「瞑想とは、何も考えないことではなく、今ここで起こっていることをただはっきりと知ることです」
- 今ここで（自分の中で）起こっているありのままを知る。
 - 一切のジャッジメント（判断・評価）なしに。
 - 身体、感覚、感情、思考から、次第に周囲や世界で。
 - 過去の後悔や未来の不安に持っていかれず、怒りや後悔など感情に溺れず、ただあるがままに気づく。
- Googleがマインドフルネス・リーダーシップ研修：『サーチ・インサイド・ユアセルフ』、禅、瞑想、脳科学を駆使しビジネス界で話題に

修験道 山伏修行

感性・野生を研ぎ澄ます

日本古来のスピリチュアルな道。

神道・仏教・道教が融合、その奥に自然信仰。

祈りを持って山を歩く。野生をとりもどす。

ほんの少しだけ
修験道山伏修行の世界へ



2012羽黒修験道大聖坊

山形県の羽黒修験道、星野尚文先達の元で山伏体験。
最近は若い女性に人気！二泊三日の企画は満員。



修験道山伏修行の意義

- 自然界、野山を全身を使って駆け回る
 - 究極の自然体験。頭はグルグルから空っぽへ。
 - 「野性／野生」を取り戻す。直観が冴えてくる。
- 沈黙の行
 - 社交は一切不要。自分自身と徹底的に向き合う。
- とにかく「受けたもう」
 - まずはやってみる。体験し感じる。それから考える。
- ファシリテーションのジレンマを超えて
 - オリエンも自己紹介もなく、いきなり体験の世界へ。
 - 不親切の親切？やさしくないことのやさしさ？

『野性の力を取り戻せ』から 渡辺清乃（キャリアコンサルタント）・星野文紘（尚文）



「考えること」の限界と「感じる知性」

渡辺：多くのビジネスパーソンが、「正しい答え」を「頭で考える」ことに行き詰まっている。（中略）「自分を越えた大きな流れや、身体の語りかけることに沿っていく」ような「感じたもの」から生み出していく面も同時に磨いていかないと行きづまるんじゃないか。

見えない未来は、感じ取るしかない

たくさんの方々取材してわかったのは、「転職で人生を変えて幸せになっている人は、よく考えて決めていなかった」

どうしてたかという「直感にしたがって動いた」

→専門家：「直感（五感（身体感覚））を磨くことで鍛えられる」→「直感型転職のススメ」

直感の質を高めるには

先達：良い直感を生み出すようになるには、「今したいことをやる」。それに尽きるよ。とにかく、やっちゃえ。

受けたもう

先達：修験道はね、人間は自然の一部だという発想のもとにあるから、山や川や海や、草や木や、岩や人、みんなつながっているものだをとらえる。そこで起こることは「うけたもう」すればいいんだよ。

渡辺：キャリアの世界で「計画された偶発性」理論（クランボルツ）「個人のキャリアの8割は予想しない偶発的な出来事によってできている」











“Follow your bliss!”

気になることについていこう

Joseph Campbell

ジョゼフ・キャンベル

より納得できる自分と社会のための

2つの基本と8つの道 基本①

『みんなの楽しい修行』（中野著、春秋社、2014）

ジョーゼフ・キャンベル
神話学者

“Follow your bliss!”

自分の至福を追求しなさい！

『神話の力』（早川書房）ビル・モイヤーズとの共著



<中野流意識>

→自分の至福についていこう（CDタイトル）

→気になることについていこうよ

モイヤーズ：

私たちが各自がしなければならない旅とは、先生がおっしゃる「魂の高い冒険」とは、どういうものでしょう。

キ：

私が一般論として学生たちに言うのは、

「**自分の至福を追求しなさい**」ということです。

自分にとっての無上の喜びを見つけ恐れずにそれについて行くことです。（中略）

モ：そう考えてくると、私たちはプロメテウスやイエスのような英雄と違って、世界を救う旅路ではなく、自分を救う旅に出かけるんですね。

キ：しかし、そうすることであなたは世界を救うことになります。 いきいきとした人間が世界に生氣を与える。 これには疑う余地がありません。生氣のない世界は荒れ野です。

人々は、物事を動かしたり、制度を変えたり、指導者を選んだり、そういうことで世界を救えると考えている。ノー、違うんです！

生きた世界ならば、どんな世界でもまっとうな世界です。

必要なのは世界に生命をもたらすこと、そのためのただひとつの道は、自分自身にとっての生命のありかを見つけ、自分がいきいきと生きることです。

で、あらためて「至福」って何？

- “bliss” = 「無上の喜び」 「至福」
 - → 「頭ではなく、心と身体の奥底が歡ぶこと」
 - → 生命力がみなぎる、生命が輝くこと(alive)
 - → いのちが滾(たぎ)ること
- それは、楽しく楽なことだけではない。
 - 至福の追求は、端的な欲望の充足ではもちろんない。
 - 人は試練を経て成長する。試練や逆境を受けて立ち、「なにくそ」と頑張ることも、至福。
 - 「気になること」「ほっとけないこと」を手放さず、向き合い、ついていくことも、至福。
 - NGOや社会起業家、スポーツ選手、研究者、アーティスト・・・
 - 「関係性」の中に至福もある。自ずと「我」を超え自利から利他へ

“bliss”の元は“ananda”

- サット・チット・アーナンダ：私たちの本質
 - 存在、意識、至福
 - キャンベル：サットもチットもわからんが、至福ならわかる
- ヨーガで(京都TAMISAのYoko先生)
 - 人間は5つの殻（層）でできている。
 - ①通常の肉体、②気の流れる身体、③表層意識、④深層意識、そして、⑤その奥に何かあると思います？
- それが“Ananda(アーナンダ)”：至福、光
 - 求めているものは、外にはない。
 - 本来、私たちは至福そのもの、光そのもの、喜びそのもの。本来の輝きを思い出せれば、もう大丈夫！
- 「**あー、なんだ、そうだったのか！**」

Ecology と Spiritualityの基盤

みんな地球の子どもたち、天地創造の最前線

- 「みんな地球の子どもたち」 （北米先住民の世界観）
 - “We are all children of the earth”.
 - 私も、あなたも、彼も彼女も、動物たちも、植物も、生きとし生けるもの、みんな地球の生態系の子どもたち。
- 私たちは、137億年の宇宙の展開の最前線。
 - ビッグバンから始まった宇宙の悠久たる進化の最前線を、今、私たち一人ひとりが張っている。
 - それぞれがやっていることが天地創造The Creation。
 - 一人ひとりの、のびのびしたユニークな展開を、宇宙はきっと喜んでくれる！それがcreative！

「みんな地球の子どもたち」

ということをみんなが深く実感できたらなあ。
環境も人権も平和の問題もずっと良くなり持続可能な社会へ。



気になることについて行こう (Follow your bliss!)

2018.5 詩・曲：中野民夫

1.好きなこと、やればいい
でもそれなかなか難しいよね
まわりの世界に合わせるうちに
やりたいことすらわからなくなる

でも大丈夫、本当は知ってる
みんな地球の子どもだから
一人ひとりがのびのびやれば
僕らを生んだ宇宙も喜ぶ

* 自分の至福について行け
フォロー、ユア、ブリス
気になることについて行こう
フォロー、マイ、ブリス。シー

2.春のきざしに花ほころんで
緑がまばゆく目覚めるように
考えるより、いのちのままに
カラダとココロが歡ぶ方へ

外に向かって頑張るよりも
内なる気配について行こうよ
僕らは宇宙の最前線
やることすべてが天地創造

* 自分の至福について行け
フォロー、ユア、ブリス
気になることについて行こう
フォロー、マイ、ブリス。シー



最終レポート課題

11月28日最終回に持ち寄りシェア大会

授業を通しての学びと「私たちにできること」

- お題：
 - ①授業での印象的な学び3つ：
 - 自分にとっての大きな気づき・発見・学び
 - 3つ（以上）具体的に提起して、何がどういう学びになったのか。
 - ②私(たち)にできること・したいこと：
 - 持続可能な社会、特に環境面で、今後の暮らしや活動・研究などで、本気で大事にしたいこと。
 - 言葉だけでなく自分なりにコミットできる正直なところ
- A4、2枚以内（2,000字～3,000字程度）
 - 11/28に持ち寄ってシェア
 - 11/29中に必要なら加筆しT2SCHOLAに提出

フィードバックシート

- 今日はGoogleフォームで
- 今日の気づき・発見、そして学びは？
- <https://docs.google.com/forms/d/12ywfB7boW7ZLGYPSyNLdpOrWIYcgmuLGj177l9H0ww/edit>

